

## ◆奥池集会所【平成30年4月14日(土) 参加者数18人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
1	小・中学生の遠距離通学費助成が今年度から実施となり、お礼を申し上げる。 また、自治会活動、特に急傾斜地崩壊対策等への日々の協力にお礼を申し上げるとともに、引き続き協力いただきたい。	こちらこそありがとうございます。承知しました。
2	地域活動について奥池集会所の使用を有料化する動きがあるが、自治会や老人会等の活動が制限されることにもなるので、従来どおり使用料を免除してほしい。	集会所全体の状況等も確認し、どのような方法がいいか考えます。
3	奥池バス停前の横断歩道で万が一事故があった場合、車両専用道路での事故になるので民事扱いとなり、過失割合に影響が出る。全国の車両専用道路ではほとんどが歩道橋を設置していることも踏まえ、市で検討するか、芦有ドライブウェイ株式会社やNEXCOに指導していただきたい。	ご要望はお伝えします。 →芦有ドライブウェイ株式会社にご要望をお伝えしました。
4	小・中学生の遠距離通学費について、全額助成してほしい。	ひとまず助成制度を実施しましたので、今後については改めて考えていきます。
5	奥池地区は国立公園であるにも関わらず、個人所有の敷地部分に派手な塀や景観を害する看板が設置してあるので、市で制限してほしい。	良好な住環境であるため、守っていかなければならないと考えています。地域の皆さまと連携を密にしていきたいと思います。
6	奥池は最終バスが早くバス代も高いので、子育て世代がUターンできるまちではなく、高齢化してしまう。若い世代を呼び込めるような補助制度等をつくってほしい。	基本的な課題だと認識しています。
7	小・中学生の遠距離通学費助成について、小学生と中学生では負担額が変わるのに割合が同じであること、助成割合が5割であることの根拠が不明である。また、私立への通学、高校生も対象としてほしい。	国の通学距離の考え方やかつての半額助成制度を踏まえ、制度設計を行いました。この助成制度は市立小中学校への通学に対しての公の役割と考えているため、私立学校への通学費助成は考えていません。

## ◆奥池集会所【平成30年4月14日(土) 参加者数18人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
8	JR芦屋駅南地区の再開発の目的と整備効果は何か。現在の計画では一般車の乗降のためのスペースが7台分確保されているが、現状でも10～15台が縦列駐車している。計画上の道路の幅員が狭いこともあり、路上駐車による渋滞にもつながる。一方でバス用に3台分のスペースを取っており、土地活用の視点でもったいない。	目的はJR芦屋駅南地区の交通混雑緩和や安全性の確保と芦屋市にふさわしい玄関口づくりです。整備効果として、安全なまち、賑わいのあるまちが期待できます。現在、様々なご意見をいただいていますので、今後詳細な検討を進めてまいります。
9	さくら参道の桜を切ったことは非常に残念である。庭園都市宣言に見合うような都市にしてほしいし、奥池地区はそのモデル地区にすべき場所だと思う。	1本1本確認し、倒木の危険性のある老木を切りました。元気な桜は切っていません。
10	県の条例により、芦屋市全域で民泊ができないこととなっているが、奥池地区で民泊が行われていると思われるので、条例が守られるようお願いしたい。民泊禁止のポスターを作ってはどうか。	芦屋市では時期や場所に問わず禁止されているので、広く周知します。地域の皆さまも、不審に思われたら管轄である県の保健所や市にご相談ください。 →県と共同で民泊禁止のチラシを市内に全戸配布しており、広報あしや6月1日号でも民泊禁止について掲載し周知しています。
11	選挙等の際に、鉛筆の使用はやめるべきだ。消して書き直しているのではないか。	書き直しはあり得ません。
12	芦屋市在住の職員を増やすべきだ。	→ご意見として承ります。
13	バスの補助等について自治会長名で要望書を提出したが、市からの正式な回答をいただけない。	丁寧に対応します。 →平成30年5月に、奥池地区自治会関係者の方に回答を行いました。
14	奥池行きの阪急バスの増便をお願いしたい。	→阪急バスにご要望をお伝えしました。

## ◆奥池集会所【平成30年4月14日(土) 参加者数18人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
15	高齢者の流出を防ぐため、高齢福祉の質を再検討してほしい。例えば、市内でデイサービスの質は同じであるにも関わらず、奥池地区だけ芦有ドライブウェイの通行料が利用者負担となる。	→デイサービスの食費や通行料等の実費負担については、介護保険法に基づき、介護保険サービス事業者が運営規定に定めることにより、利用者の方に負担して頂く仕組みになっていますので、ご理解ください。なお、今後も更なる高齢福祉の質の向上に向けて取り組みます。
16	奥池集会所のトイレが冬の寒さで凍ってしまった。対策を考えてほしい。	→ご指摘のトイレは、ハイカーに配慮した屋外の施設であり、水道工事業協同組合と調整し緊急連絡体制をとることとしています。
17	さくらまつりの出店料を再検討してほしい。年々高くなっており、障がい者団体等が出店できなくなっている。	→次回のさくらまつり協議会開催時にご意見として伝えます。
18	東おたふく山バス停から奥池方面に向かう際に川を越える橋があり便利なので、管轄は市ではないと思うが、今後も継続して利用できるよう助力をお願いしたい。	
19	奥池町20-1は、森林であること、急傾斜地の崩壊防止工事の同意が必要な対象であることから、関係各所と連携しながら、地元の意向も酌み、崩壊防止工事をスムーズに進めるために協力してほしい。また、レッドゾーンに該当する可能性があるため、西宮土木事務所に調査を要請してほしい。	西宮土木事務所に要請します。 →西宮土木事務所へ要望したところ、調査の実施を検討すると回答いただいています。
20	横断歩道を渡るときに使う旗が古くなってきているのだが、市に相談してよいか。	対応します。 →平成30年4月に横断旗を取り替えました。
21	以前六甲砂防事務所が土石流が起らないよう堰堤を改修し安全性を確保したが、奥池集会所がイエローゾーンに指定されたままのため、土砂災害時の避難所として使用できない。現在、避難所はシスメックスのグローバルコミュニケーションセンターか大阪ガスの奥池ロッジであり、大雨の中、池の横を通る必要があるため、実際にはほとんど避難できない。イエローゾーンを解除するよう、西宮土木事務所に働きかけてほしい。	分かりました。 →西宮土木事務所へご要望をお伝えしました。

## ◆奥池集会所【平成30年4月14日(土) 参加者数18人】

★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。  
 ★完了事項については、【→青字】で表示しています。  
 ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
22	自転車歩道通行可の標識がない歩道を自転車走っていることは問題だと思う。注意してほしい。	→交通違反については警察に取締りをお願いし、交通安全のルールやマナーについては啓発や教育を行っていきます。
23	部活の顧問が事故に遭い、代わりの先生が来たが、経験がなく指導できなかった。代理には顧問もできる人を希望する。	専門のクラブ活動を見ることができる先生が少なくなっており、部活動支援員の配置は1つの取組です。
24	市民センターに多目的ホールのような部屋を追加してほしい。	改修のタイミングがあれば検討することも可能です。
25	奥池の消防署の車は冬はスタッドレスでなければ役に立たず、また水が出る部分が凍っていた。凍らないように点検するべきだ。	確認します。 →奥池分遣所を含むすべての消防署所配備の消防車両は、スタッドレスタイヤを含む冬用タイヤを早い段階から装着し、必要に応じてタイヤチェーン着想での出動を行っています。また、奥池分遣所管内の冬期の消防水利(消火栓)対策として、積雪が予想される前に塩化カルシウムを散布しておき、積雪時にはポットに熱湯を入れて持参し散布、積雪量が多い場合は金属探知機を使用して消火栓の位置を特定します。